

友の会のページ

「お元気ですか」改題No.284
編集 代々木健康友の会
FAX 03(3404)3421
TEL 03(5411)9589

会費納入のご案内

会費納入は、郵便振替が便利です。
会費は年間1,000円です。
口座番号 00190-7-71019
加入者名 代々木健康友の会

代々木健康友の会第45回定期総会

10月23日(日)10:00~13:00 全理連ビル9階(JR代々木駅徒歩3分)

記念講演 小池晃氏 (前参議院議員・医師)

同封の返信用はがきで出欠をお知らせ下さい

東日本大震災

あれから半年、いまだ苦境にある被災地の生活

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から6カ月。いまだなお9万人近い方々が避難生活を送っています。

代々木健康友の会は、被災者の苦しみに心を寄せ、救援募金やボランティア活動に取り組んでいます。

9月11日、石巻市の仮設住宅の青空バザー会場で、玉ねぎ、じゃがいも、人参、トマトなど200キロの野菜を無料配布しました。

四回目のボランティア活動に参加した副会長の伊香忠志さんは「最初に現地に行ったのは5月中旬でした。ほぼ毎月ボランティア活動に参加して現地を視察しています。5月は目を覆うばかりの瓦礫の山、荒涼とした風景、汚泥の匂い等、言

葉にならないほどのショックを受けました。確かに瓦礫と化した車や鉄柱などは撤去されていますし、道路は行きました。自分たち車などが通行できるようになっていています。しかし、被災者は6ヶ月たっても避難生活をつづけ、不安な毎日を送っています」と語っています。実際、勤務先が再開のめどがたらず働く場所もなく、帰る家もなく、そして何よりも家族を失った悲しみの深さははかりきれません。

ボランティア活動について伊香さんは「最初は、避難所での炊き出しをしたり、支援物資を送って青空無料バザーでした。何とか元

現在、被災地の民医連が参加する「災対連」は毎月「炊き出し＆なんでも相談会」を各地で開催、救援物資

の配布などを行っています。友の会は、こうもありますので、事前にボランティア登録をお願いします、決まり次第で支援したいと考えています。当面、11月にボランティア支援を行う予定です。この紙面でご連絡下さい。

望んでいる人たちの期待にも応えたいし、喜んでいただけることが何よりの励みとなっています。可能なかぎり現地に出席し、被災者のみなさんが少しでも前にすすめるように気持ちを一つにして取り組んでいきたい」と語っています。



仮設住宅で無料バザー

拡大月間 10/1~12/28

政権交代から2年。3人目の首相に野田佳彦氏が就任しました。国民が「政権交代」に託したのは、自民党政治を変えてほしいというこ

「復興財源」「社会保障と税の一体改革」の名で消費税大増税、普

「復旧」「復興は大企業、原

「復興財源」「社会保障と税の一体改革」の名で消費税大増税、普

「復興財源」「社会保障と税の一体改革」の名で消費税大増税、普

東日本大震災の被災者の心に寄り添い、地域住民が主体の復旧・復興と原発ゼロをめざし、社会保障の充実、消費税大増税反対の世論を広げ、誰もが安心できる「くらし」「いのち」を守る新しい福祉社会、強く大きな友の会と健康づくりに取り組む「月間」を成功させましょう

健診を受けましょう



みなさん、はじめまして。今年の春から代々木病院の若手職員

「待合室」で事務として働いています加藤翼と申します。

さて、先月の8月9日の長崎原爆投下の日に合わせて行われた原水爆禁止世界大会に

日本大震災の被災地をはじめ、日本全国と世界から集まった代表団がそれぞれの反核、

日本人の感覚の溝を感じ、原発も原水爆も根本的に同じ危険なものだということを訴えていく必要性と、原水爆禁止運動に新たな目標が加わった瞬間を目の当たりにした大会となりました。

長崎原爆、爆地や東

加藤翼

医療が発達し、長寿国として有名な日本。感染症で亡くなる方の割合は昔と比べ減りましたが、今多くの日本人の死因として最も多い疾病はがんです。

健診課 三村尚代

検査項目	友の会料金	一般料金
乳がん検診 (触診+マンモグラフィー+乳房エコー検査)	3,000	5,250
乳がん検診と子宮がん検診 (子宮頸部の細胞診) セット	8,000	10,500
前立腺がん検診 (PSA検査)	1,200	2,100
大腸がん検診 (便潜血2回法)	500	2,100
外来人間ドック	26,250	42,000

あなたと読者の未来をつなぐ月刊誌

好評発売中

いつでも元気 10月号 380円

巻頭エッセイ/ひとりの母として UA

元気スペシャル

「お祭り」で探るきずな 岩手

特集1 「社会保障と税の一体改革」の正体は? 中央社保険・相野谷孝事務局長にきく

特集2 動悸を感じたら 症状によっては治療が必要 田中真一

食と健康 読者のハガキから 胃腸を守る

発行=神保館健康研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階 電話:03(5642)5656(代表) FAX:03(5642)5657